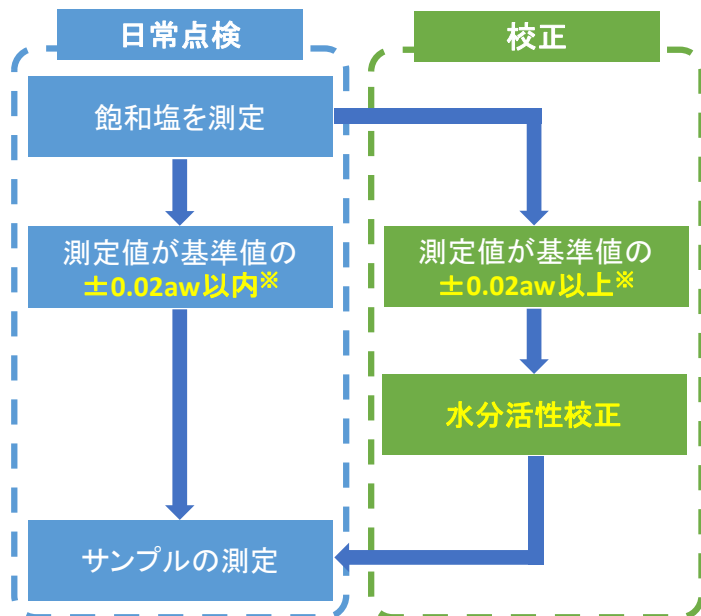


飽和塩 AW用のご紹介

測定前の精度確認

水分活性測定装置AW-1型は、出荷時にスタビリティモードにて $\pm 0.01aw$ の精度であることを確認しています。季節の変わり目や測定環境の温湿度が大きく変化した場合には、飽和塩を用いて精度確認を行いましょう。

サンプル測定時と同じ条件で飽和塩を測定し、測定結果が基準値の ± 0.02 以上※になった場合、水分活性校正を行うことを推奨します。

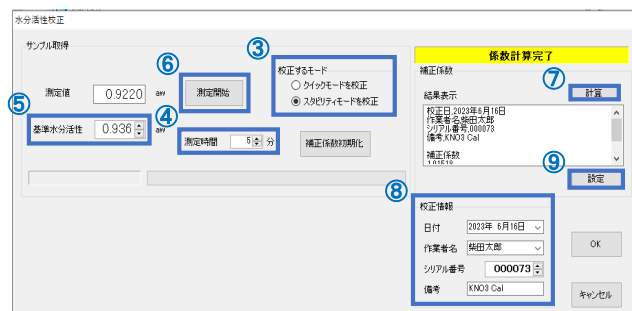


※お客様の求める精度により異なります。

校正手順

- ①PCとAW-1型をUSBケーブルで接続する
- ②専用ソフトウェアを立ち上げ、「校正」、「水分活性校正」をクリック
- ③校正する測定モードを選択
- ④測定時間を設定
(測定後そのまま校正する場合は5分)
- ⑤飽和塩の水分活性を入力
- ⑥測定を開始
- ⑦測定終了後「計算」を選択し、補正値を算出
- ⑧校正情報を入力
- ⑨「設定」を選択し、補正値を保存

※詳しくは取扱説明書をご覧ください。



特徴

- ISO 18787:2017を参考に調製
- 蓋を開けてセンサー部分にセットするだけで準備完了
- 繰り返し使用可能
- 防水透湿膜により液漏れの心配なし
- 測定するサンプルの水分活性に合わせて飽和塩の選択が可能



仕様

品目コード	品名	飽和塩の種類		価格¥
060990-020	飽和塩0.225aw	酢酸カリウム	CH ₃ COOK	10,000
060990-021	飽和塩0.328aw	塩化マグネシウム	MgCl ₂	10,000
060990-022	飽和塩0.529aw	硝酸マグネシウム	Mg(NO ₃) ₂	10,000
060990-023	飽和塩0.753aw	塩化ナトリウム	NaCl	10,000
060990-024	飽和塩0.843aw	塩化カリウム	KCl	10,000
060990-025	飽和塩0.930aw	リン酸二水素アンモニウム	NH ₄ H ₂ PO ₄	10,000
060990-026	飽和塩0.973aw	硫酸カリウム	K ₂ SO ₄	10,000

※水分活性は25°Cの数値です。

■飽和塩 AW用
製品詳細ページ



作成: 2023年7月
(1)

柴田科学株式会社

草加本社工場 〒340-0005 埼玉県草加市中根1-1-62
http://www.sibata.co.jp/
発行元:カスタマーリレーション部 マーケティング課